

平成31年4月11日

元気あふれる福島市の新ステージへ 総合計画を推進する総額895億円の311事業 ～総合計画第4期実施計画と中期財政収支見通しの策定～

市のまちづくりの指針である総合計画に基づいて実施する事業について、年次ごとの具体的な執行計画と事業費を明らかにする実施計画を作成しました。

今回作成した第4期実施計画の計画期間である平成31年度から平成32年度の2ヶ年で総額約895億円の事業費を見込んでいます。

これを踏まえ、現行制度や消費税率の引き上げなどを考慮しながら財政の収支見通しを試算しました。その結果、各年度に財源不足が生じますが、財政調整基金（※1）などを活用して必要となる財源を確保できる見通しとなりました。

しかし、中期的な見通しでは、平成35年度には財源の確保が困難な状況となり、今後、事業費の抑制や既存事業の見直しに取り組むとともに、自主財源の確保に努めるなど、中長期的な視野に立った健全な財政運営が必要となります。

記

1 実施計画

(1) 策定の目的と計画期間

市総合計画後期基本計画（※2）に基づいて実施する施策・事業の実現に向けた具体的な執行計画で毎年作成します。

今回策定した実施計画は平成31年度から平成32年度の2ヶ年が計画期間です。

(2) 計画の範囲

道路や施設整備などのハード事業のほか、重要度の高いソフト事業が対象となります。一方、義務的経費（※3）や経常的経費（維持修繕費等）は対象外としています。

(3) 計画に掲載した主な事業（別紙添付資料参照）

将来に向けて夢が持てる新しい福島の創生を確実に具現化するため「ひと・暮らしいきいきふくしま」「産業・まちに活力ふくしま」「風格ある県都ふくしま」の3つの政策目標を掲げ「元気あふれる福島市の新ステージ」の実現を目指す事業を掲載しました。

2 中期財政収支見通し

実施計画と整合を図り、平成35年度までの一般会計の財政見通しを作成しました。なお、この試算は将来の予算編成を拘束するものではなく、国の行財政改革等の動向により変動するものです。

3 公表方法

本日（4月11日（木））から市ホームページに計画書を掲載します。

また、市立図書館や市民情報室（市役所1階）に計画書を設置します。

※1 財政調整基金：事業執行で財源が不足する場合に、その不足額を調整する（埋める）ために積み立てているお金。

※2 基本計画：自治体の将来目標や基本的施策を実現するために必要な手段、施策を体系的に明らかにするもの。

※3 義務的経費：職員の給与、社会保障制度（生活保護や児童・老人福祉費等）、借入金の返済

担当：政策調整課 総合計画係
課長 後藤、課長補佐兼係長 目黒
電話 024-525-3788（直通）

担当：財政課 財政第二係
課長 松田、係長 佐々木
電話 024-525-3704（直通）